

独立行政法人 造幣局 JAPAN MINT

採用案内



令和2年度版



Top Message

伝統を受け継ぎながら、
新たな課題に挑戦します

造幣局は、明治4年(1871年)に近代国家として全国統一の新たな貨幣制度を確立するため、大阪の地に開設されました。それ以来140年を超えて、経済活動・国民生活の基盤である貨幣を製造、供給して、日本の発展とともに歩んできました。

また、勲章・褒章等を製造するとともに、記念貨幣の製造、貨幣セットの販売などの事業も行っています。平成27年4月からは、独立行政法人の中でも行政執行法人として、引き続き国家公務員の身分が付与され、国の行政に関連する業務を国との密接な連携の下で行っています。

造幣局の経営理念は「信頼と挑戦」です。創業期の人たちがそうしてきたように、「何ごととも恐れず挑戦し、どんな困難も乗り越えて行く」という伝統をこれからも受け継いでいく必要があります。最近では造幣局は、外国貨幣の製造にも挑戦し、受注に向けて職員が諸外国を訪問するなどの取り組みを行っています。また、本年は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されますが、開催に向けて、大会を記念した記念貨幣及び金・銀・銅の各入賞メダルの製造に、造幣局役職員は一丸となって取り組んでいます。

造幣局は、新たな課題に前向きに挑戦する若手職員に対しては、その姿勢を高く評価して、失敗を恐れず積極的に挑戦できる環境を整えています。若手時代に自ら考えて試行錯誤し、先輩から叱咤激励を受けながら成し遂げた仕事は言葉にならない満足感を与えてくれます。このような満足感の積み重ねが仕事を面白くし、当事者意識を芽生えさせ、ひいては組織を発展させていきます。経験を重ねるなかで、全てを自分自身の問題と考え全体の状況を判断しながら自分がどう動けばよいのか常に考えることのできる職員こそが、造幣局の更なる飛躍の原動力になると信じています。

これからも造幣局は社会の要請と時代にあわせて自らを変革しなければなりません。ワーク・ライフ・バランスの実現を目指した働き方改革もその一つであり、私がかこうしたことに先頭に立って取り組んでいます。

2021年には創立150周年を迎えます。造幣局の未来を描き、未来を切り拓いていくためには、皆さんの柔軟な発想と好奇心、失敗を恐れないチャレンジ精神が力となります。皆さんに大いに期待しています。是非私達と一緒に、国民の皆さんのために貢献していこうではありませんか。

独立行政法人造幣局 理事長

川嶋 真

造幣局は、あなたの「豊かな人間性」と「世界に通用する力」を求めています!!

造幣局は平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは行政執行法人として運営していますが、高品質で純正画一な貨幣の確実な製造等の業務を効率的・効果的かつ透明性をもって行うという、国民の皆様のために果たすべき役割は何ら変わるものではありません。

また、昨今では日本の高度な技術力、低コストで最高の品質を海外へ提供するなど「世界一の造幣局を目指す」動きも加速させています。

こうした役割を果たし、国民の皆様の期待と信頼に応えるためにも、造幣局では、「組織の一員として自分の役割をしっかりと考え、共に働く人のことを理解し、課題や目標に集中できる人」、「前例に流されることなく、自ら考え工夫を凝らして新しいことに挑戦し、意欲的に取り組むことができる人」を求めています。

将来の造幣局のために、自らの強みを生かして責任を持って職務に取り組む意欲のある方が、一人でも多く造幣局を訪れることを期待しています。

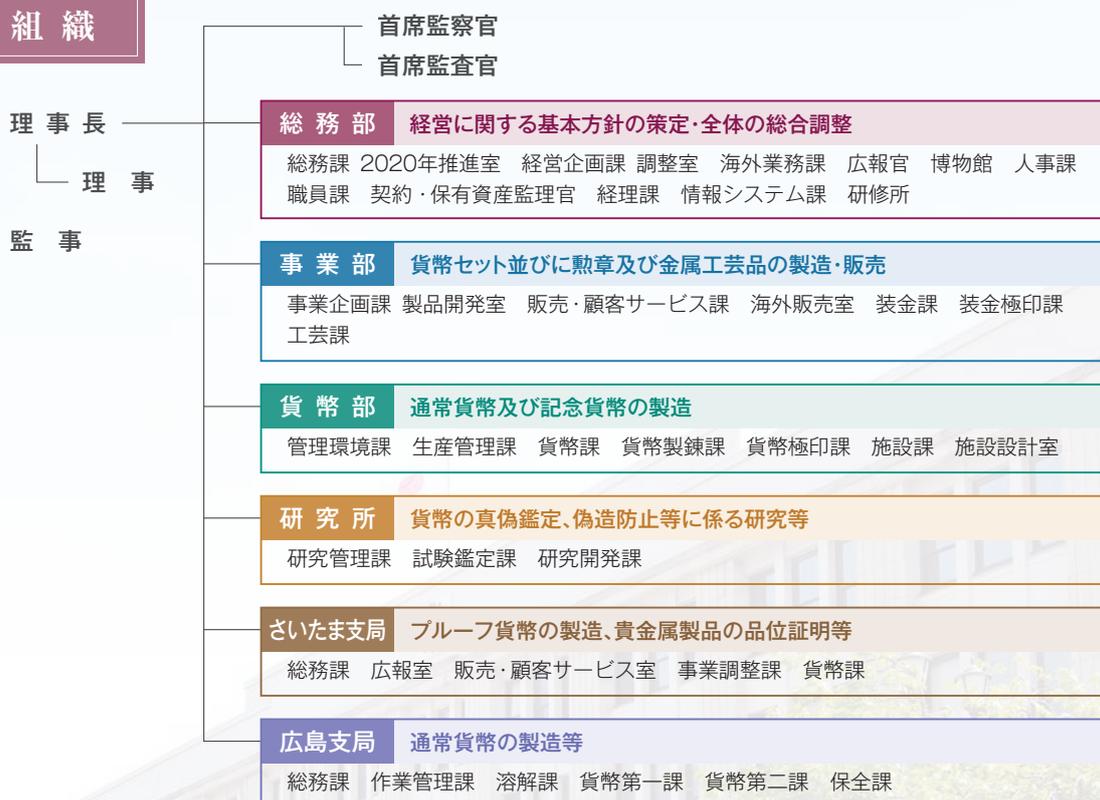
社会的使命 Our Mission

造幣局は

- 純正画一で偽造されない貨幣を、合理的な価格で安定的かつ確実に供給すること
- 国の文化を象徴する記念貨幣及び技術やデザインを工夫した収集用貨幣セットを販売し、国民の多様なニーズに応えること
- 練達した技術により、国家・社会への功績を称えるにふさわしい重厚で品格のある勲章や褒章を製造するとともに、精巧で美しい金属工芸品を製造して国民に魅力的な製品を提供すること
- 高度で確実な技術により、公的主体として品位証明及び精製・分析のサービスを行うこと

を通じて、国民の貨幣に対する信頼の維持と国民生活の向上に寄与することを使命としています。

組織



令和2年1月1日現在

貨幣の製造

時代は変わっても、
貨幣づくりに対する姿勢は
変わりません

造幣局では、1円貨から500円貨までの6種類の
通常貨幣を製造しています。

貨幣は、材料を溶解し、圧延・圧穿・圧縁・圧印・
検査工程を経て製造されます。当局では純正画一
で偽造されない貨幣の安定供給のため、製造技術
や偽造防止技術の向上に努めています。

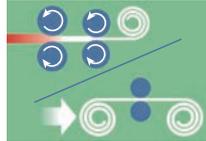


溶解工程

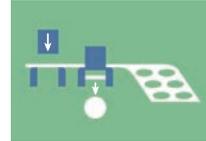
1. 溶解



2. 圧延



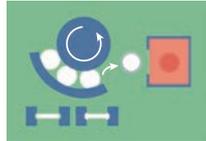
3. 圧穿



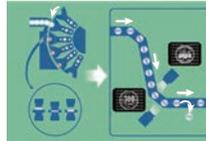
圧印・検査工程



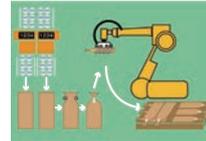
4. 圧縁



5. 圧印・検査



6. 計数・袋詰め



記念貨幣の製造

造幣局では国家的な事業を記念して発行される記念貨幣を製造しています。



左から

- 東京2020オリンピック競技大会記念 一万円金貨幣
- 新幹線鉄道開業50周年記念 千円銀貨幣
- ラグビーワールドカップ2019™日本大会記念 千円銀貨幣
- 天皇陛下御即位記念 五百円バイカラー・クラッド貨幣

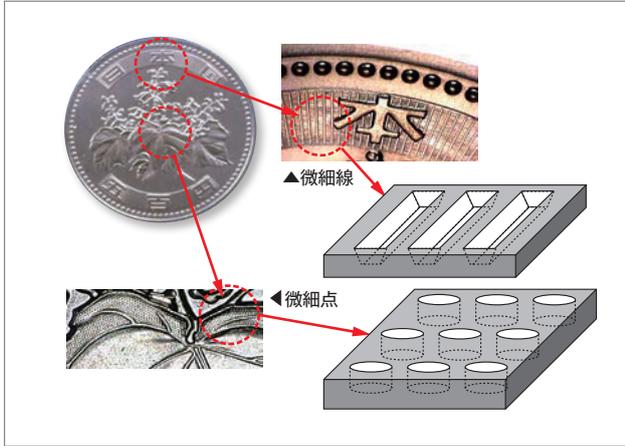
貨幣の偽造防止と安定供給

500円貨幣には、最新の偽造防止技術が採用されています。

偽造防止技術①(微細線・微細点)

切削加工、微細加工の限界に挑んだ技術

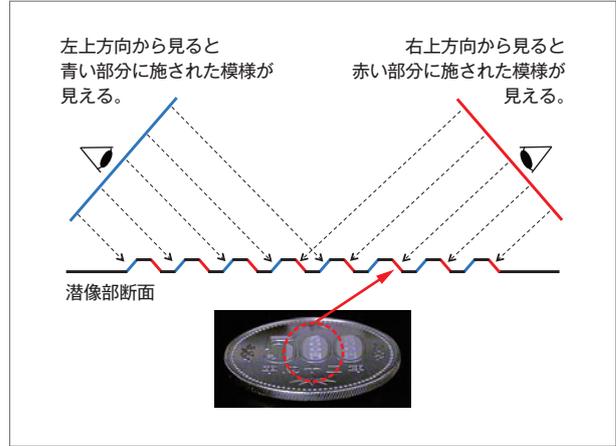
微細線・微細点の概念図



偽造防止技術②(潜像)

見る角度によって、数字等が見え隠れする技術

潜像の概念図



偽造防止技術③(斜めギザ)

大量生産型貨幣では世界初の斜めギザ



高度な偽造防止技術の導入

記念貨幣には、現行の通常貨幣で使用している偽造防止技術に加え、さらに高度化された種々の偽造防止技術を導入しています。

虹色発色技術

近年製造している記念貨幣等には、虹色発色技術が採用されているものがあります。虹色発色技術とは、貨幣表面に非常に微細な溝を作ることによって、光の回折・干渉を起こし、虹色に輝いて見えるようにする加工技術です。貨幣を見る角度が変わると、加工部が7色にキラキラと輝きながら変化するため、通常の着色などでは表現できない視覚効果を可能としています。

虹色発色技術は見た目では判別しやすい偽造防止技術です。

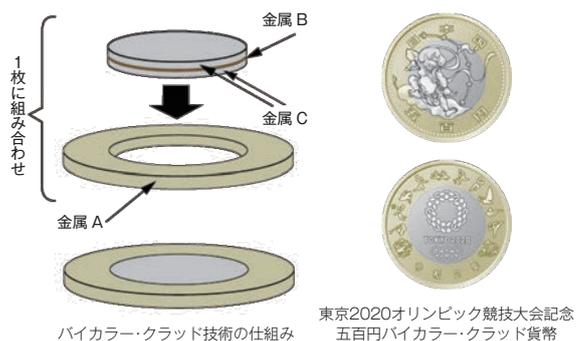
虹色発色のイメージ



バイカラー・クラッド貨幣

近年製造している記念貨幣に、500円バイカラー・クラッド貨幣があります。この貨幣には「バイカラー」技術と「クラッド」技術を組み合わせた技術が採用されています。「バイカラー」技術は、リング状の金属の内側に、材質の異なる金属をコアとして嵌め合わせる技術です。「クラッド」技術は、異なる種類の金属板をサンドイッチ状に挟み込む技術です。この2つの技術を組み合わせて、1枚の貨幣を作っています。

なお、現在流通している500円通常貨幣についても、令和3年度上期を目途に、バイカラー・クラッド貨幣に仕様変更されることが、財務省より発表されています。



勲章・褒章の製造

匠のこだわりが生み出す勲章 — それは世界に誇れる芸術です

造幣局は、内閣府賞勲局からの発注を受けて、勲章・褒章を製造しています。

勲章・褒章は国家または公共に対し功労のある方や、各分野において優れた行いのある方に授与されるものであり、美麗・尊厳・品格を兼ね備えていることが要求されます。このため、熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。



(A) 桐花大綬章(正章) (B) 大勲位菊花大綬章(正章)
(C) 旭日大綬章(正章) (D) 宝冠大綬章(正章)
(E) 文化勲章 (F) 瑞宝大綬章(正章) (G) 褒章

勲章の製造工程



1 材料板に勲章の模様をプレスし、形にそって切り抜きます。



2 ヤスリで形を整えます。



3 七宝が入る部分に「ゆう葉」を盛り付けます。その後、電気炉に入れて「ゆう葉」を焼き付けます。



4 羽布ぼふで研磨して光沢を出し、必要な部分には金メッキをします。部品を組み立てて完成です。

Point 《機械の導入による効率化》

■ 機械の導入例

自動研磨機による羽布作業

羽布作業とは、布に研磨剤をつけて部品の表面を研磨する作業です。自動研磨機を導入して作業しています。

七宝自動盛り機

七宝ゆう葉をシリンダに詰め込み、コンピュータ制御により指定された位置に定量の七宝ゆう葉を盛り付ける機械です。

勲章の製造については、培われてきた伝統技術の確実な維持・継承に取り組むとともに、機械の導入などによる一層の効率化を図っています。



金属工芸品の製造

金属工芸品製造に用いる高度な技術は、
貨幣製造技術の維持・向上に寄与します

〔虹色発色技術の場合〕



皆様のニーズに — 伝統の技が応えます

造幣局では、公共性の高い金属工芸品を受注製造するほか、偽造防止技術をはじめとする貨幣製造技術の維持・向上のため、金属工芸品の製造を行っています。

■ 金属工芸品の数々



国民栄誉賞



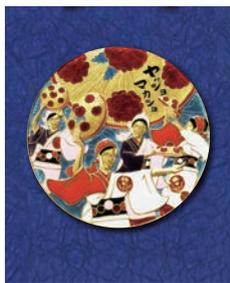
東京オリンピック入賞メダル(金)



札幌冬季オリンピック入賞メダル(金)



長野冬季オリンピック入賞メダル(金)



七宝章牌「山形花笠まつり」



「干支十二稜メダル(子)」(金)



国宝章牌「大浦天主堂」(銀)



平成31年桜の通り抜け記念メダル(銅)

貨幣セット等販売

あの日、あの時の『感動』をカタチに
— 永遠に刻む力があります

造幣局では貴金属を用いた金貨幣や銀貨幣を製造しており、これらの貨幣は、製造に要する費用が額面を超えるプレミアム貨幣として販売しています。このほか、民間事業者との共同企画等により、500円から1円までの貨幣をケースに収納した種々の貨幣セットを販売しています。



桜の通り抜け 2019 プルーフ貨幣セット

Point 《行事等を記念した貨幣セット》

「サザエさん」は昭和44年にテレビ放送が開始され、令和元年に50周年の節目を迎えたことから、これを記念した貨幣セットを販売しました。国民的アニメとしてお茶の間に定着している「サザエさん」の人気を受けて、多数のお申し込み、ご好評をいただきました。また、造幣局では、独自の製品企画の一つとして、種々記念日の贈り物用に毎年、年銘で記念日貨幣セットを企画販売しています。



サザエさんアニメ放送50周年貨幣セット ©長谷川町子美術館

記念日貨幣セット

Fineness Certification of Precious Metal Wares, etc.

貴金属製品の品位証明等

公平・中立な科学の眼 — それが安心を提供します

貴金属製品の品位証明業務は、製造・販売を行っている業者からの依頼に応じて品位試験を行い、この試験に合格したのものには、証明記号（マーク）を打刻してその品位を証明しています。

この品位証明記号を通称「ホールマーク」といい、国民の皆様からの信頼も厚く貴金属製品の取引の安定と消費者保護に貢献しています。

また、貨幣材料の分析及び試験で培ってきた技術を応用した各種分析及び試験を行っています。



海外業務

世界に学び学ばれ、
海外に広めたい技術と熱意があります

世界造幣局長会議をはじめとした国際会議に積極的に参加し、最新の貨幣製造・偽造防止技術等について、各国の造幣局や通貨当局等との情報交換を行っています。



世界の造幣技術の発展のために情報交換を行っています

■ 世界造幣局長会議

(MDC : Mint Directors Conference)

各国の造幣局長が出席する国際会議で、貨幣に関連する諸問題や共同解決等に関する情報交換の場となっています。具体的には、製品開発、工程改善、販売等における取り組み事例や貨幣を取り巻く各種状況等についてセッションが設けられ、各国の造幣局より、取り組み成果や報告等が発表されます。

■ MDCコイン・コンペティション

MDCに付随するイベントとして、メンバー造幣局が製造した貨幣のコンペティションが行われます。平成24年には、このコンペにおいて当局の記念貨幣が「記念貨幣（金貨以外）最も美しい貨幣賞」に選ばれています。



MDCソウル2018

外国貨幣の製造を通して、海外の友好国との関係を深めています

海外の友好国へ貨幣の受注活動を積極的に展開しています。その結果、平成24年に戦後初めて一般流通貨幣であるバングラデシュ 2タカ貨幣の製造を受注したほか、多くの国々の記念貨幣を製造しています。海外から貨幣を受注し、製造することは、その国との友好関係を深めることに大いに貢献するものであり、造幣局の存在意義は大変高まっています。

日本カンボジア友好60周年記念銀貨幣



(表面)アンコールワット



(裏面)「日本カンボジア友好60周年」の公式ロゴマーク及びキャッチフレーズ (Trust we built, Future we share (かざねた信頼、さすく未来))

(参考) 過去の海外からの貨幣の受注状況

平成19年	日本ニュージーランド友好記念銀貨幣
平成24年	バングラデシュ 2タカ貨幣 (一般流通貨幣)
平成24年	日本スリランカ国交樹立60周年記念銀貨幣
平成25年	バングラデシュ国立博物館100周年記念銀貨幣
平成25年	日本カンボジア友好60周年記念銀貨幣
平成26年	日本ブルネイ外交関係樹立30周年記念銀貨幣
平成26年	日本ミャンマー外交関係樹立60周年記念銀貨幣
平成26年	オマーン第44回国祭日記念銀貨幣
平成27年	日本ラオス外交関係樹立60周年記念銀貨幣
平成27年	オマーン「ニズワ・イスラム文化の首都2015」記念銀貨幣
平成28年	ジョージア20テトリ貨幣 (一般流通貨幣)
平成28年	アラブ首長国連邦「殉職者の日」記念銀貨幣
平成29年	ジョージアワイン記念銀貨幣
平成29年	アラブ首長国連邦紙幣印刷所公式開所記念銀貨幣

先輩からのメッセージ



平成24年採用：Ⅱ種(行政)
さいたま支局 広報室 主任

「造幣局」を国内外に発信

●現在の業務内容

さいたま支局広報室では、支局におけるイベントの企画や、各種メディア対応、博物館の運営等を行っています。造幣局は、公的機関としては珍しく大阪に本局を置いているため、さいたま支局は、首都圏から造幣局を発信するという重要な役割を担っています。その中で、私が担当しているのは、より良い情報発信を行うためのコンテンツの充実化です。例えば、事業案内ビデオの刷新や、展示説明の多言語化等を行っています。また、海外の関係者が来局された際には、学生時代の専門であった英語を生かして、博物館や工場見学にご案内することもあります。広報室は少人数の部署ですが、その分、自分自身の考えや創意工夫を業務に反映するチャンスが多く、やりがいを感じています。

●造幣局を志望した理由

最初から造幣局を志望していたわけではなく、合同説明会等で偶然造幣局の業務を知ったのがきっかけです。公務でありながら製造・販売業でもあるという点や、高い技術をもって海外に対し日本を発信することができるという点に惹かれ、造幣局で働いてみたいと思うようになりました。

Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公務でありながら製造・販売業でもあるという珍しい機関です。他の公務員の職場ではなかなか経験できないような仕事が多くあります。公務員志望の皆さんの中で、好奇心やチャレンジ精神が旺盛な方には、ぜひ造幣局の業務説明会等に参加し、造幣局の業務を知っていただきたいと思います。

●今後の展望

以前は海外販売室に所属し、海外に対して日本の造幣局を発信する仕事をしていました。現在の部署では、これまでと立場や業務内容は異なりますが、造幣局の魅力をより多くの人に知ってもらいたいという点で、共通していると感じています。今後も様々な部署で経験・スキルを積み、国内外における造幣局の存在感を高めることに貢献していきたいと考えています。



造幣局の情報セキュリティを守っています

●現在の業務内容

情報システム課では、局内のパソコンやネットワーク等の管理業務を行うほか、各部署で使用されている業務システムの運用支援を行っています。造幣局ではERPシステム(統合基幹業務システム)をはじめとして各種の業務システムが導入されており、情報システムの適切な運用は、効率的な業務の運営において必要不可欠です。また、情報セキュリティにも注意を払う必要があり、情報処理機器の安全確保は、局全体を支える重要な業務と言えます。

情報システムの世界は日々進化していますので、自身の知識を深めるため、勉強の日々です。

●造幣局を志望した理由

公務員を志望するにあたり、私自身が理系の学部にも所属していたことから、「モノづくり」に関わりたいたと考えていました。そのような思いを持ちながら業務説明会に参加したところ、貨幣製造を通じて培われた技術力の高さ、信頼度の高さに魅力を感じました。

●やりがいを感じる時

ERPシステムの運用に関して、年度更新作業を任されたことです。ERPシステムは、在



庫や会計に関する情報が連携しており、データに不備がないことを確認したうえで、次年度の会計情報処理に必要な膨大なマスタ情報を登録します。限られた時間の中、手順通り確実に対処する必要があり、緊張感が漂う中での作業となりました。途中、様々な問題に直面しましたが、上司に相談しながら一つずつ解決し、無事終了したときには、安堵感とともに、やり遂げたことに対する大きな達成感を感じました。



平成30年採用：一般職(電気・電子・情報)
総務部 情報システム課 係員

Message 学生のみなさんへ

造幣局に限らず、業務説明会に参加し、実際に働く職員の声を聞いてください。採用パンフレットやインターネット情報だけでは発見できないことや、自分が本当にやりたいことが見つかると思います。また、学生の間に様々な経験をしてください。どんな経験であっても、いつか役立つときが来ると思います。

出向を通じたさらなるキャリアアップ

●現在の業務内容

秘書課にて研修業務を担当しています。具体的には、他省庁からの研修開催案内についての対応業務で、省内において「参加者募集→研修員決定→研修終了」までの一連の処理を担当しています。

このほか、研修係が独自に開催する研修もあります。例えば、省内での語学研修や、語学習得のため職員を海外へ派遣する研修などです。これらの研修に関しては、自らで開催の準備を行ったり、研修員の選考試験の実施や研修の運営を行ったりする必要があるので、骨が折れます。しかし、職員の語学能力向上に貢献できることは非常にうれしく思っています。

●造幣局を志望した理由

志望理由として、大きく2点あります。まず1点目は、「モノづくり」に携わることができるからです。貨幣のみならず貨幣セットや金属工芸品を製造・販売しており、人々に喜んでいただける製品を生み出すことに携われることは非常にやりがいを感じます。



また2点目として、職場訪問の際に接した職員の皆さんが優しく、それまで抱いていた緊張感や不安感が解消されたと同時に、このような職員の方々がいる職場で働きたいと思ったからです。

●これまでの仕事で印象に残っていること

入局後は事業部製品開発室に配属となり、貨幣セットや金属工芸品の製品企画を行っていました。お客様に喜んでいただける製品を考案することを念頭に置きつつ、開発室内で様々なアイデアを出し合い試行錯誤する過程は、困難ではありましたが非常にやりがいを感じました。また、自らが考案した製品が好評だった際は喜びも大きかったです。



平成28年採用：一般職(行政)
財務省 大臣官房秘書課 係員

Message 学生のみなさんへ

造幣局は暖かな雰囲気のある職場です。仕事で分からないことがあっても、周りの方には優しく教えてもらえますし、様々な相談を気軽にできる職場環境だと感じます。ぜひ一度造幣局の業務説明会等に参加していただき、職場の雰囲気を直に感じていただきたいと思います。皆様と造幣局と一緒に働くことを楽しみにしています。



平成30年採用：総合職(工学(院卒))
貨幣部 生産管理課 係員

国の基盤を技術面から支える機関

●現在の業務内容

造幣局は、一般の官公庁とは異なり、貨幣や勲章等の製造を行う組織です。事業を効率的に行うためには、民間企業と同様に製品のコスト・品質・納期を管理する必要があります。

私が所属する生産管理課では、このうちコストに関する生産技術業務と品質に関する品質管理業務を所掌し、私が主に従事しているのは、勲章の製造に関する生産技術業務です。生産管理課では、新しい設備を導入することにより、工程の削減によるコスト低減や自動化による人手不足への対応を行うことが可能か、設備メーカーの協力を得ながら調査・検討を行っています。

●造幣局を志望した理由

国家公務員を志すにあたり、一人の技術者として生の技術に触れることができる業務に携わりたいと考えていたためです。

一般の官公庁では、所掌事務を執り行うための一般事務が主であり、生の技術に触れる機会は減多にありません。対して造幣局は、貨幣に関する研究開発から製造の各工程まで、全てに関わることができる職

場であり、国の基盤を技術面から支えたいと考えていた私にとって、非常に魅力的であったためです。

●今後の展望

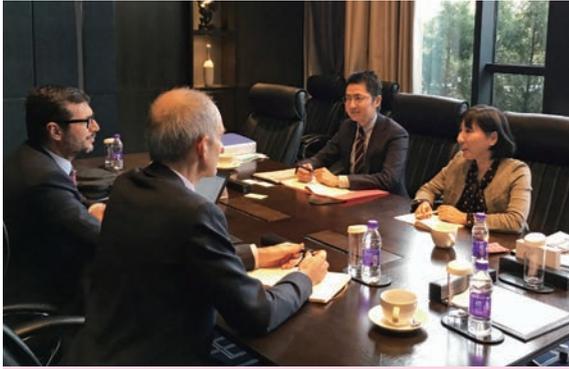
これまでの業務を通じて、生産技術業務には、全ての製造工程に関する豊富な経験と知識が必要だと感じるようになりました。採用間もない私には、至らない部分も多く、周囲の方々の協力や知見を得なければならぬ状況です。

今後は、製造現場に近い業務を経て知識と経験を積み、生産管理課のような管理部門でも通用する職員へと成長したいと考えています。



Message 学生のみなさんへ

人との繋がり、特に職場以外のコミュニティを大切にしてほしいと思います。もちろん職場のコミュニティも大切ですが、新たな課題にぶつかった際、職場内の価値観だけでは解決できないことがあるかもしれません。多様な背景を持つ方々との繋がりを通じて、職場だけの価値観にとらわれない柔軟な発想が持てると良いと思います。



平成11年採用：Ⅱ種(行政)
総務部 海外業務課 専門官

Message 学生のみなさんへ

造幣局では製造から販売まで多様な業務を行っており、皆さんがこれまで学んだことを生かせる場ももちろんあるかと思いますが、大学で学んだ専門にこだわらず、与えられた機会に何にでも前向きに取り組んでください。きっと、やりがいのある仕事に出合えると思います。

●造幣局を志望した理由は何ですか？

当初、他の官庁に関心を持っていましたが、造幣局の工場見学に興味があり、官庁訪問に参加しました。おそらくそのときから製造業である造幣局の仕事に魅力を感じていたのだと思います。一方で、いずれの組織に就職するかはあくまで「縁」であって、どの組織に就職したとしても、そこに自分の居場所があり、自分のやるべき仕事があるのではないかと今は思います。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

最初の配属先は経理課で、その後、アメリカへの派遣留学を経て、海外業務を担当することになりました。現在は、外国貨幣の製造受注業務のほか、日本の記念貨幣の海外販売業務を担当しています。また、各国の造幣局関係者が集まる世界造幣局長会議が日本で開催された際にはその事務局に所属し、国際会議の運営に携わる貴重な経験ができました。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局前は、漠然と一般事務の業務を行うものと思っていましたが、他国の通貨当局への営業活動、発注国の事情や要望に関する製造部門との調整、製造品の輸出等、公務員でありながら、まるで商社のような仕事をするようになるとは、想像もしていませんでした。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

現在、幼い双子の子育て中ですが、毎日育児時間を取り、その時間に帰宅後の子どもの夕食を用意しています。また子どもが病気のときには「看護休暇」を取得しています。男性職員も子育てに熱心な人が多く、子育てに対する組織全体の理解は進んでいると思います。

一方で、私の希望もあり、出産前と同様に海外出張へも行って、育児中の働き方を自分で選択できる職場だと思います。

●造幣局を志望した理由は何ですか？

普段、当たり前のように使用している「貨幣」ですが、当たり前に行うことができるのは日本国という信用があるから。そんな貨幣を独占的に製造し、公的機関でありながら民間の手法を取り入れてマネジメントしている造幣局に興味を持ちました。

また、国の機関としては珍しく大阪に本局を構え、実家からも遠くなく、ワーク・ライフ・バランスが実現できそうな職場だと思い、志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局当初は、経営企画課に配属され、造幣局全体のお金の流れを学びました。その後、財務省へ出向し、予算関連法案の審査や法案作成業務に携わりました。また、さいたま支局在籍中は、支局主催の広報イベントの企画・立案、外部からの取材対応、博物館の展示の充実等に取り組みました。

現在は再び経営企画課に配属され、経営データを収集・分析しつつ、造幣局の課題解決のためのプロジェクトにも参加しています。専門的な知識がまだまだ不足しているので、日々勉強です。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局するまで、関西圏とは縁なく過ごしてきたので、特段のイメージは持っていませんでしたが、入局後、桜の通り抜けや各種式典、見学者が大勢訪れる博物館を通じて、地域から愛され、必要とされている機関であると実感しました。明治4年の開設以来続く伝統を誇りに感じ、仕事をされている職員が多くいる職場だと思います。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

夫の仕事の都合で、結婚を機に、さいたま支局に転勤させていただきました。また、出産の際には産休・育休を取得しました。男性の多い職場ですが、家庭に貢献している男性職員も多く、理解を得やすい環境だと思います。現在は、周囲のサポートもあり、効率を重視しながら日々の仕事と家事・育児等をこなしています。



平成18年採用：Ⅰ種(法律)
総務部 経営企画課 主事

Message 学生のみなさんへ

自分の意思をしっかり持って発信できる人は必ず活躍できる職場です。学生時代は、よく学び、よく遊び、いろいろな経験をして、今しかない自分だけの時間を有効に使ってください。皆さんとともに働けることを楽しみにしております。

●造幣局を志望した理由は何ですか？

学生時代の専攻分野にかかわらず様々な仕事をしたいと思っていたこと、「モノづくり」に携わる仕事に興味があったことから、造幣局を志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

入局後に初めて配属された装金極印課では、貨幣や勲章などに模様を打つ金型の製造を行っており、私は主に作業伝票の発行や報告書の作成などを担当していました。貨幣や勲章の製造において金型の果たす役割は非常に重要となりますが、これらが様々な工程を経て出来上がっていく様子を間近で見られたことは、とても貴重な経験になったと思います。

次に配属された経理課では、適正な契約を行うための基準となる予定価格の決定に関わる積算業務に携わっていました。

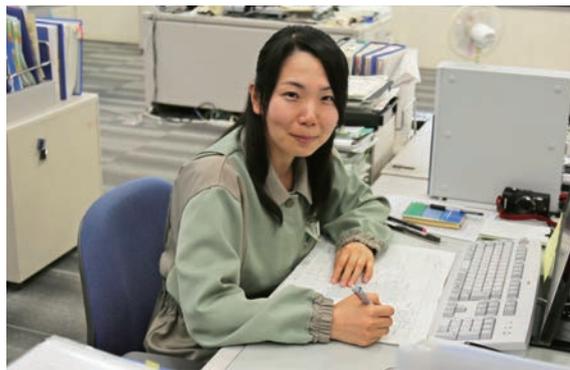
現在は、施設課に所属しており、積算業務の経験も生かしながら、建築担当として建物の修繕や機械設備を導入するための改修工事の仕様書作成や工事監督業務などに携わっています。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

建物の雰囲気もあってか入局前は堅い役所というイメージを持っていましたが、実際に働き始めると全くそんなことはありませんでした。貨幣や勲章の製造、建物の修繕などの現場を抱える造幣局には職種・採用区分も様々なタイプの職員がいて、それぞれが協力し合って業務を進めていく必要があり、職員同士は割とフランクな関係を築いていると思います。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

造幣局の職員は国家公務員としての身分を有しているため、育児休業などについても他省庁と同様に国の法律や人事院規則に準じた制度が適用されます。また、国と同様に造幣局全体で働き方改革を進めていることもあり、女性が働くにあたって十分な配慮が行われていると感じます。造幣局全体で女性職員の割合がまだまだ少ないので、もっと多くの女性と一緒に働けたらと思います。



平成21年採用：Ⅱ種(建築)
貨幣部 施設課 主任

Message 学生のみなさんへ

造幣局は、専門の分野に関係なく、多岐にわたって幅広く仕事ができる職場だと思います。「モノづくり」に興味がある方はもちろんのこと、それ以外の方にも、やりがいのある仕事が見つかると思います。



平成29年採用：一般職(化学)
広島支局 貨幣第一課 係員

●造幣局を志望した理由は何ですか？

もともと「モノづくり」に興味があり、「モノづくり」に関わる仕事に就きたいと考え、就職活動を行っていました。その中で、造幣局は、身近にある貨幣を唯一製造しており、「ここでしかできない仕事がある！」と魅力を感じたため、志望しました。

●これまで経験した業務と、現在の業務の内容を教えてください。

最初の配属先は本局生産管理課で、現在は広島支局貨幣第一課で勤務しています。

生産管理課では、貨幣や勲章等の品質管理、技術の調査・指導など様々な業務を行っていました。現場に赴き、自分の目で実際の作業を確認することができたのは貴重な経験になったと思います。

現在所属している貨幣第一課では、金属の塊である鑄塊を加熱して所定の厚さまで延ばす「圧延」という作業を行っています。圧延作業には大型設備が用いられていますが、これらの設備が安定稼働するよう点検や修理等の手配を行うほか、作業に必要な物品購入等の業務を行っています。

Message 学生のみなさんへ

造幣局に少しでも興味がある方は、業務説明会に参加して、業務の一部を肌で感じてもらいたいです。造幣局の魅力や知らなかったことを知ることができる良い機会になると思います。就職活動は大変だと思いますが、後悔しないよう最後まで諦めずに頑張ってください。

●入局する前と後で、造幣局に対するイメージの変化はありましたか？

入局前は、公務員ということもあり、お堅いイメージがありました。実際に入局して働いてみると、明るく声をかけてくださったり、仕事のことを相談すると丁寧に教えてくださる方が多いので、とても働きやすい職場だなと感じています。

●造幣局は女性にとって働きやすい職場ですか？

「育児休業」や「産前・産後休暇」など、仕事と育児を両立するための制度がとても充実しています。また、子どもの送り迎えに合わせて勤務時間を変えることができ、自分の環境に合わせて柔軟な対応ができます。実際にこれらの制度を利用して、仕事と育児を両立されている女性職員の方々がたくさんいらっしゃるの、働きやすい職場だと感じています。

新規採用職員インタビュー



平成31年採用：一般職(行政)
総務部 経理課 係員

Message 学生のみなさんへ

パンフレットでは分からないこともたくさんあると思うので、いろいろな業務説明会に参加してみるといいと思います。工場見学や博物館見学もできるので、ぜひ造幣局にも来ていただけたらうれしいです。就職活動は大変かと思いますが、自信を持って最後までがんばってください。

● 造幣局を志望した理由

業務説明会に参加し、貨幣の製造だけでなく、貨幣セットの販売や外国貨幣の受注など幅広い業務に携われるというところに魅力を感じました。また、職員の方々の雰囲気がとても良く、働きやすそうな職場だと感じ志望しました。

● 現在の業務内容

私は経理課に所属し、原価計算業務を行っています。造幣局は製造業として企業の運営を行っているため、原価計算情報は、財務会計のみならず、経営管理においても重要な情報となります。原価計算では、製品の外見は同じでも、製造形態によって評価方法が異なるので、各工程の作業内容や製品についての知識がないと適切な会計処理が行えません。工業簿記等の会計知識があれば良いというわけではなく、製造に関する知識も必要となります。

学ぶことがとても多く大変な面もありますが、その分やりがいのある仕事です。

● 職場の雰囲気など

公務員といえば堅苦しいイメージがあったのですが、造幣局には気さくで優しい方が多いと思います。他課の方もよく声をかけてくれますし、分からないことがあれば誰でも丁寧に教えてくれます。自分からも質問がしやすい雰囲気なので、とても仕事がしやすい職場です。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

まずは目の前の仕事を迅速に、正確にこなせるようになりたいです。今は分からないことばかりですが、先輩方から教えていただいたことを自分の知識としてしっかり身に付け、後輩に伝えられるような職員になればと思います。

● リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方

平日は、家でゆっくりしていることが多いですが、時間が合えば、同期や友人と食事に行ったりしています。甘いものが好きで、駅前に週替わりでいろいろなスイーツのお店を出店しているところがあるのでよく買ってしまいます。

● **造幣局を志望した理由**

国家公務員を志すにあたり、行政機関でありながら「モノづくり」に関わる業務を行う点が魅力的だと感じました。日本の造幣局は世界でもトップクラスの技術を有しており、貨幣や勲章の製造、研究開発など幅広い業務を通して国の経済の基盤を技術面から支えることができる、やりがいのある職場だと考え志望しました。

● **現在の業務内容**

私が所属する貨幣課では、貨幣の製造を行っており、その中で私は、プレス機で貨幣に模様をつける「圧印」という作業に関する事務に携わっています。主に、貨幣の枚数管理や、極印と呼ばれる貨幣に模様をつける金型の数量管理などの業務を行うほか、新しい図柄の圧印テストや製造機械の故障対応など、幅広く業務に対応しています。

純正画一な貨幣を製造するため、工場の操業に滞りのないよう調整や問題の解決を図っています。

● **職場の雰囲気など**

現在の職場は良い緊張感のある職場だと感じています。仕事に対して真摯に向き合う方が多く、常に良い刺激を受けています。その一方で、明るい雰囲気や冗談を言い合ったり、相談に乗っていただいたりと、メリハリのついた非常に風通しのいい職場です。

● **造幣局で仕事をしていく中での目標**

事務的な知識だけでなく、技術的な知見も備えた人材になりたいです。貨幣等の製造には、製造機械、金属材料、システム関係など幅広い知識が要求されます。大学時代の専門分野に捉われず、様々な技術への知見を広げ、技術系職員にしかできない業務を行いたいです。

● **リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方**

週に1度、定時退庁日が設けられており、その日は気分転換に散歩をしたり、家でくつろぎながら読書をしたりして、リフレッシュしています。

休日は趣味のカメラを携えて、美しい景色を眺めに行ったり、温泉に行ったりしています。有給休暇も取りやすい環境なので、土日とつなげて少し遠出をしたりもします。



平成31年採用：一般職(機械)
貨幣部 貨幣課 係員

Message 学生のみなさんへ

就職活動は人生の大きな分岐点だと思います。様々な官庁や企業の雰囲気を感じて、自分は組織に対してどう携わりたいか、技術をどう生かしたいかを想像してみてください。

そして、ぜひ造幣局の業務説明会や工場見学にもお越しいただき、造幣局の雰囲気を感じていただきたいです。造幣局を選択肢の一つに入れてくだされば幸いです。

● **造幣局を志望した理由**

公共性の高い仕事がしたいと思い、公務員試験を受験しました。官庁訪問で初めて訪れた際、貨幣は日本国民皆が使用し公共性が高いこと、また造幣局でしか作られていないオンリーワンのモノであるといったことから、貨幣製造という業務に魅力を感じました。

● **現在の業務内容**

私は、管理環境課で、貨幣セット販売用に使用されるブルー貨幣及び記念貨幣の製造計画を策定する業務を行っています。貨幣セットの販売計画を基に、人員数や機械の能力・台数を勘案して計画を策定しますが、全てが計画どおりにいくわけではなく、予期せぬ状況が発生した場合には、納品に支障を来さぬよう関係各署と調整を図ります。造幣局では、1年目でも、このように責任ある仕事を任せてもらえ、分からないことがあれば先輩方の手厚いフォローがありますので、安心して業務を行うことができます。

現在は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の記念貨幣を製造しており、計画担当という形で国際的な一大イベントに携わることができ、やりがいを感じています。

● **職場の雰囲気など**

仕事の相談をすれば誰でも親身になって相談に乗ってくださり、また、自分が所属している課や他課の方でも気軽に話しかけてくださる方ばかりで、大変温かくとても居心地の良い職場です。

● **造幣局で仕事をしていく中での目標**

まず、自分の分からないことを少しでも減らしていき、そのために多くの方とコミュニケーションを取っていきたくと考えています。そして、会得した知識や人とのつながりを生かして、円滑に業務を進め、早く一人前になりたいです。

● **リフレッシュ方法・アフターファイブや休日の過ごし方**

家でゆっくりと映画を見たりする日もあれば、造幣局近くの梅田エリアで買い物をしたり、友人とご飯を食べたりなど様々です。最近は、車でドライブするのが週末の楽しみです。



平成31年採用：総合職(工学)
貨幣部 管理環境課 係員

Message 学生のみなさんへ

自分の専門分野にこだわらず、ぜひ興味のある、異なる分野の勉強もしてみてください。幅広い視野・知識を持つことで、就職先の選択の幅が広がるだけでなく、自信にもつながります。造幣局では、それが必ずどこかで役に立つと思います。皆さんは今の気持ちを忘れず、向上心のある素敵な公務員になってください。造幣局でお待ちしています。

若手職員の1日



平成28年採用：一般職(行政)
総務部広報官付係員

広報官では、新聞社やテレビ番組制作会社などのマスメディアからの取材対応、『時報』(社内報)や『年報書』といった資料の作成、ホームページの管理などの業務を行っています。



平成30年採用：一般職(化学)
事業部製品開発室係員

製品開発室では、造幣局が販売する貨幣セットや金属工芸品の企画・開発に関して、新製品のテーマ選定から外部機関との交渉など幅広い業務を行っています。

9:00 出勤 (朝礼、メール確認等)

マスメディアからの取材や資料依頼のメールを確認し、上司に相談しながら対応を行います。スケジュールを確認し、どのように仕事を進めるかをざっくりと考えます。



9:30 『時報』編集打ち合わせ

毎月発行される『時報』と呼ばれる社内報の編集業務を行います。提供資料や撮影写真を素材に、どのような記事を作っていくかを話し合いながら決定します。素案作成後は印刷業者と打ち合わせを行い、紙面の形に落とし込んでいきます。



11:00 局内行事の写真撮影

本日は、構内で消防訓練が行われるため、その様子を撮影します。良い写真が撮れるよう、立ち位置や背景を考えて撮影しています。



12:00 昼休み

食堂で昼食をとります。12:00になるころにはおなが空いているので日替わりのメニューがとても楽しみです。同僚などと気になったニュースなどの世間話で盛り上がります。

14:00 広報イベントの打ち合わせ

造幣局では、局内のみならず各地域に出向いて、広報イベントを開催しています。お客様に喜んでもらえるよう、意見を出し合って企画内容を検討します。

17:00 『年報書』作成

造幣局の1年間の事業を取りまとめた『年報書』と呼ばれる資料を作成します。各部署から受領した資料を基に作成しますが、造幣局の様々な事業を横断的に把握でき、大変勉強になります。気になった点があれば上司に確認を取りながら作成を進めていきます。



18:30 退庁

『時報』の編集が大詰めを迎える毎月末は、多少の残業を行うことがあります。この日は1時間ほど残業を行いました。

9:00 出勤、デスクワーク

出勤後はメールや予定を確認し、スムーズに業務が行えるよう1日のスケジュールを立ててから、仕事に取り組んでいます。



9:30 製品企画

民間企業等に訪問して製品化の企画・提案を行うことが多く、事前準備が欠かせません。企画書等の書類作成だけでなく、模型品の製作も行います。

11:00 製品見本の確認

製品見本の色合いや文字が、デザインと相違ないか校正チェックを行います。製造開始前の最後の確認となるため、気の抜けない業務です。



12:00 昼休み

お昼ご飯は食堂で同期と食べることが多いです。趣味や日常生活の何気ない話をしてリフレッシュし、午後からの業務に備えています。



13:00 抽選会

記念貨幣等の販売において、販売予定数量を上回る申し込みがあった場合には、抽選会を開きます。準備だけではなく、司会を担当することもあります。



15:00 新製品に関する打ち合わせ

他部署と新製品について打ち合わせを行います。販売対象や製品特長を考慮しつつ、デザインの方向性や製品の仕様について、お互いが納得いくまで話し合うことで、より良い製品化を目指します。



17:30 定時退庁

この日は、他部署の先輩方とボールドリングに行き体を動かし、気分転換しました。



平成22年採用: II種(機械)
事業部事業企画課主任

事業企画課では、造幣局で販売している貨幣セットや金属工芸品の企画、立案や製造するための製造計画などに関する業務を行っています。



平成28年採用: 一般職(化学)
広島支局溶解課係員

広島支局溶解課では、貨幣の材料である金属を配合して溶解し、合金の塊(铸塊)を製造しています。

9:00 出勤、デスクワーク

出勤後はメールや1日の予定を確認し、スムーズに業務が処理できるよう準備します。

9:30 作業計画の策定

勲章や金属工芸品の作業計画の策定を行います。実際の製造状況を把握し、先輩と相談しながら効率的に製造できるようスケジュールリングします。



11:00 承認書類、決裁書類の作成

貨幣セットや金属工芸品を販売するために必要となる承認書類、決裁書類の作成を行います。製品仕様や販売方法など、簡潔で分かりやすい資料づくりを心掛けています。



12:00 昼休み

デスクでお弁当を食べながら、趣味の話などで盛り上がっています。

13:00 製品仕様に関する打ち合わせ

製品企画されたものを製造するためにどのような工程が必要か関係部署と打ち合わせを行います。製品の完成イメージを想像しながら、金型の形状や仕上げ方法など細かいところまで意見を出し合います。



15:00 製造工程の進捗管理

直接、製造現場へ赴き、製造状況の確認を行います。作業計画どおり製造が進んでいるか進捗を確認し、後工程の関係部署と今後のスケジュールを調整します。



17:30 定時退庁

この日は、定時退庁して、子供を保育園に迎えに行きました。

7:30 出勤、朝礼

溶解課は2交替制勤務の職場で、早番の週では7時30分から仕事が始まります。前日からの引継事項をチェックした後、事務所の上司や作業担当職員と朝礼を行い、その日の作業予定についての情報を全員で共有します。



9:00 配合計算

溶解する各金属の配合割合を計算します。割合を間違えると製品は不良品扱いとなり、次工程に材料を供給できず製造計画に影響を及ぼすため、最も注意を必要とする業務となります。



10:00 現場確認

溶解工場に行き、現場職員の方から作業内容や進捗状況について聞きます。部品や補助材の注文依頼を受けることもあり、この際に不明な点があれば積極的に質問します。

11:15 昼休み

昼休みには持参の弁当を食べてしっかり栄養を補給します。職場の方々が気さくに話しかけてくれるのでリラックスした時間を過ごすことができ、気分転換ができます。



13:00 産業廃棄物収集運搬の立会い

製造過程において発生する産業廃棄物の廃棄に際しては、収集運搬業者へ指示を行い工場外に搬出します。数量は正しいか、書類上の不備はないかといった点に注意しつつ立会いを行います。



15:15 引継ミーティング

遅番担当者に引継を行います。引継事項に漏れがないよう綿密にコミュニケーションを取ります。



15:45 定時退庁

早番出勤の場合は15時45分に定時退庁します。平日でも比較的早い時間帯に銀行や買い物に出かけられるため、少し得した気分になります。



平成27年採用：総合職(工学)
貨幣部 管理環境課 主任

● 両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

周りの人に支えられていることを実感することが多く、日々感謝をしながら仕事をしています。また、終業時刻より早めに帰っているため退社後に業務が入ることや、子どもが病気にかかって急に休むことがしばしばあります。そのようなときに業務が滞らないよう、仕事を一人で抱えこまないようにしています。

Message 学生のみなさんへ

造幣局には育児をしながら勤務している職員がたくさんいるので、仕事と家庭の両立をするうえでのアドバイスがもらえることが多く、大変心強い職場です。ぜひ、皆さんも造幣局と一緒に働いてみませんか。

● 仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

育児休業中は家事や育児で手いっぱいだったので、さらに仕事をするには不安がありました。実際、職場復帰すると休業前と変わっていることが多く、戸惑うばかりでした。しかし、周りからのサポートのおかげで少しずつ業務をこなすことができるようになり、生活にメリハリがついてきたと感じています。仕事と家庭の両立は簡単ではありませんが、子どもの「自慢のママ」になれるよう、頑張っています。

● 利用した支援制度は？

「産前・産後休暇」、「育児休業」を利用しました。子どもと向き合う時間をしっかり取ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。子どもが6カ月のときに職場復帰した後は、「早出遅出勤務」と「保育時間」、「育児時間」を組み合わせで勤務しています。また、子どもが熱を出したり、健診に行ったりするときには「子の看護休暇」を利用しています。保育園に通い始めてからは周囲からの影響で病気にかかりやすくなったので、支援制度のおかげで大変助かっています。



仕事と育児の
両立のための
行動計画メニュー
(女性職員の場合)

Work-Life Balance



深夜勤務及び時間外勤務の制限
健康診査等のための職務専念義務免除
業務軽減等
休息、補食のための職務専念義務免除
通勤緩和

産前休暇

産後休暇

産前産後の付き添い等

保育時間

育児休業、育児短時間勤務、育児時間、早出遅出勤務、超過勤務の制限等については、配偶者の就業等の状況にかかわらず、取得できます。

子の看護休暇は、負傷や疾病にかかった子の世話のほか、予防接種や健康診断を受けさせるために付き添う場合も取得できます。中学校就学前までの子について取得できます。

深夜勤務、

妊娠

出産

0歳

1歳

●育児だけではなく、介護についても同様に休暇等制度が利用できます。

●仕事と家庭の両立にあたり問題や不安はありましたか？

1人目の子どもを出産してすぐに配偶者の転勤のため、職場が変わることになり、職場に復帰する際は不安な気持ちでいっぱいでした。実際には、優しい上司や同僚が仕事をサポートしてくれ、少しずつ新しい環境と仕事に慣れていくことができました。

●利用した支援制度は？

「産前・産後休暇」を取得した後、子どもが満1歳になった後の4月まで「育児休業」を取得しました。待機児童の多い地域で、年度途中の入園が難しかったのですが、入園しやすくなる4月まで「育児休業」を取得できたので、あまり保活の心配をすることなく子育てができました。また、保育園に慣れるまでの短時間だけ預ける期間も「育児休業」を取得できたので、子どもへの負担が少なかったのではないかと思います。

今は、通勤に時間がかかるため、「育児短時間勤務」制度を利用し、保育時間内にお迎えに行くことができています。また、子どもが病気の際には、有給休暇とは別に「子の看護休暇」を利用することができるので、助かっています。



平成19年採用：Ⅱ種(行政)
さいたま支局 総務課 主任

●両立にあたって心掛けていること・工夫していることはありますか？

仕事については、サポートしてくれる上司や同僚へ感謝をきちんと伝え、時間内にできること・できないことを明確にし、報告・連絡・相談を密に行うよう心掛けています。子育てについては、一緒に過ごす時間が短くても子どもが安心できるように、たくさん抱きしめて感謝の気持ちを伝えています。



Message 学生のみなさんへ

造幣局では、性別を問わず、仕事と家庭を両立するための様々な制度を利用できます。こうした環境と、育児の大変さを理解し、支えてくれる上司や同僚、家族への感謝は、仕事を頑張るエネルギーになっています。これから就職する皆さんも、限りある時間を上手に配分して、人生を楽しんでほしいです。

男性職員も、産前産後時の休暇や育児のための各種休暇等制度が利用できます。



長さは
取得可能期間
を示します。

母性保護のための制度（女性）
出産時のための制度（女性）
出産時のための制度（男性）
育児のための制度（女性・男性）

早出遅出勤務は、小学校入学後も放課後児童クラブ等に通う子を送り、または迎えに行く場合にも利用できます。

育児休業

育児短時間勤務

育児時間

早出遅出勤務

超過勤務の制限及び超過勤務の免除

深夜勤務及び超過勤務の制限

子の看護休暇

2歳

3歳

4歳

5歳

6歳

採用関係情報

給与

国の機関に勤務する一般職国家公務員は、一般職の職員の給与に関する法律の適用を受け、給与が支給されます。

一方、造幣局の職員は国家公務員ですが、当該法律の適用対象外であり、内規として給与規程を定め、給与が支給されます。なお、給与制度に関しては、概ね国と同様の給与体系となっています。

初任給	総合職(院卒者)	234,300円
	総合職(大卒程度)	205,370円
	一般職(大卒程度)	200,420円
	一般職(高卒者)	165,660円

(大阪市で勤務する場合、令和元年度実績)

その他にも扶養手当・通勤手当等が支給されます。また、年2回賞与(期末手当、奨励手当)が支給されます。

福利厚生

◆健康管理

健康診断を定期的に実施し、また、そのフォローアップも行っています。

◆共済制度

造幣局採用と同時に財務省共済組合の組合員となります。共済組合員は、病気、負傷、出産等に関して給付を行う短期給付や退職後に年金として支給される長期給付を受けることができます。また、臨時に必要とする支出に対する生活資金等の貸付制度もあります。

サークル活動

健康と明朗さを保ち、職員相互の親睦を図るため各種スポーツや文化・趣味をテーマに、様々なサークルが活動しています。各種団体が主催する大会にも参加して優秀な成績を収めています。

勤務時間、休日休暇

◆勤務時間

製造部門の部署に配属される職員は午前8時から午後4時30分、庁舎・管理部門の部署に配属される職員は午前9時から午後5時30分までの勤務となります(いずれも7時間45分勤務(休憩時間は45分))。なお、庁舎・管理部門のうち、一部の部署についてはフレックス勤務(午前7時30分～午前9時30分の間に出勤)が可能です。

◆休日

土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始が休日となります。

◆休暇

有給休暇としては、年に20日(4月1日採用の場合は15日、残日数は20日を限度として繰越可)の年次休暇、病気休暇、特別休暇(夏季、結婚、出産、子の看護、ボランティア、忌引など)が付与されます。

配属

造幣局採用後、まず本局の研修所において約2カ月間、造幣局職員としての必要な基礎知識を身につけるための新規採用職員研修を受け、その後、各職場に配属となります。

なお、配属先においては、所属の先輩職員が専属の指導員として付き添いますので、安心して業務を行うことができます。

毎年職員から、勤務地、部署などの希望を申告する機会があります。職員の配属に際しては、申告のあった希望や、能力、適性、業務上の要請などを総合的に勘案して行います。

◆スポーツ

野球、バレーボール、テニス、卓球、弓道など

◆文化・趣味

吹奏楽、茶道、書道など

研修

造幣局では、公務員として求められる高い能力や資質に加え、全体の奉仕者としての使命感や倫理観を持った人材の育成が極めて重要であるとの認識の下で、職場や職員のニーズに合った様々な研修を実施しています。また、専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、通信教育による学習活動の支援も行っています。

新規採用職員研修

造幣局の業務についての基本的なことや、仕事を行ううえで求められる行動と責任について学びます。また、研修期間中、実際に製造現場における業務を知っていただくことを目的として、本・支局の現場研修を実施しています。

採用後約2カ月間の新規採用職員研修を修了した後、各職場に配属となります。

主なカリキュラム

- 業務についての基礎知識
- 社会人の基本として必要なビジネスマナー
- 現場研修（貨幣製造工程、勲章製造工程での現場研修等）

階層別研修

造幣局の求める各階層の役割を十分に自覚し、強い責任感を持って仕事に取り組む人材を育成することを目的として、係長、課長補佐、課長等の昇任後に、各役職に求められる能力を養成する研修を実施しています。

主なカリキュラム

- 仕事と人のマネジメント（係長研修）
- 管理・監督者のあり方、部下指導（課長補佐研修）
- 課題設定力・問題解決力（課長研修）
- コンプライアンスに関する研修（全階層）

専門性能力向上研修

人事労務管理、財務・経理、販売管理及び技術管理等の業務に従事する職員を対象に、職務の専門性を一層高め、能力向上を図ることを目的として実施しています。

主な研修・試験

- ビジネス・キャリア検定試験（労務管理、生産管理等）
- 販売士
- 原価計算、財務諸表分析、簿記
- 貿易実務（英文契約） ● 知的財産権

一般総合研修

一定の勤続年数（3～5年）に達した職員を対象に、約1カ月間職務遂行上求められる基礎的な知識を再確認したうえ、さらに専門的な知識の習得に努めることを目的として実施しています。

主なカリキュラム

- プレゼンテーション
- アカウンティング・原価計算
- 生産管理・品質管理 ● マーケティング

国外派遣研修

海外業務に関連する職員を育成するため、選考された職員の語学力の向上を図るとともに、一定の語学レベルに達した時点で国外の大学に派遣しています。

過去の国外派遣研修においては、アメリカの大学において経営に関する科目（管理会計論、組織論、ファイナンス、マーケティング等）を学んで、グループワークやプレゼンテーションを中心とした課題に取り組み、研修修了後は海外業務に関する部署において活躍している職員もいます。

自己啓発支援

専門的知識及び技能の習得を図ろうとする職員の自己啓発意欲を促進・向上させるため、幅広い分野について予め選定した通信教育による学習活動を支援しています。

主な通信教育講座

- 語学（TOEICテスト実践トレーニング、実用英語講座）
- 資格取得（日商簿記検定、社会保険労務士講座）
- ビジネススキル（問題発見・解決、パソコン等）
- 生産・技術（品質管理、工程管理）

Q&A

採用、就業条件について気になることをお答えします。

Q1

職員の身分は国家公務員ですか。

A

職員の身分は国家公務員です。
造幣局は独立行政法人の中でも行政執行法人に位置付けられています。独立行政法人通則法により、行政執行法人の職員の身分は国家公務員とする旨が定められています。

Q2

国の行政機関における造幣局の位置付けはどのようなものですか。また、行政執行法人とは、何ですか。

A

造幣局は財務省の特別の機関でしたが、平成15年4月に独立行政法人となり、平成27年4月からは、その中でも行政執行法人と位置付けられました。
行政執行法人とは、公共上の事務等のうち、国の行政事務と密接に関連する業務を、国の相当な関与の下に確実にを行うことを目的とした法人です。

Q3

学生時代の専攻が採用にあたって有利・不利になることはありますか。

A

学生時代の専攻が採用に有利・不利になることはありません。造幣局では、人物・能力本位で採用しており、特定の分野に偏ることなく、多様な人材を採用しています。仕事をするうえで必要な知識は、日々の業務を通じて修得できるほか、各種研修の機会も準備されているので心配はいりません。

Q4

採用されやすい試験区分はありますか。

A

造幣局は「モノづくり」を中心としているため、大きく区分して、採用数は技術系の試験区分からの方が行政系よりも多くなっているのは確かですが、試験区分によって、採用されやすい又は採用されにくいといったことはありません。入局後も、試験区分によってキャリアパスが限定されることはありません。技術系で採用されても、事務系の業務に携わっている職員も多くいます。

Q5

採用試験前に取得しておくくと有利な資格はありますか。

A

特に有利な資格はありません。語学力等の資格はないよりもあった方が良いですが、決め手にはなることはありません。例えば、語学力について、入局後に語学研修の機会もありますので、そうした場を活用して力を付けていただき、その力を発揮していただければ十分です。

Q6

技術系で採用になると、工場の現場で製造作業も経験できるのですか。

A

配属部署によっては、作業の管理、資材等の調達、設備点検、技術指導などの業務を通して、工場等での製造作業に携わる場合がありますが、直接、製造作業に従事することはありません。

Q7

転勤や造幣局以外での勤務はあるのでしょうか。

A

本局（大阪）以外に、さいたま支局、広島支局で勤務する場合があります。
また、財務省本省（大臣官房、主計局及び理財局等）に出向し、勤務する場合があります。
さらに、国外派遣研修を利用して外国の大学に留学する機会もあります。

Q8

女性にとって働きやすい職場なのでしょうか。

A

造幣局では、超過勤務の縮減や休暇の取得促進など、ワーク・ライフ・バランスを積極的に推進し、働きやすい職場環境の整備に努めています。出産後に「育児休業」を取得後復職し、仕事と育児を両立して活躍している女性職員もたくさんいます。
また、女性職員のさらなる登用の拡大に向けて、女性が活躍できる職域の拡大や研修等を通じたキャリア形成支援にも取り組んでいます。

Q9

残業はどの程度ありますか。
また、休暇の取得状況はどうか。

A

業務量や業務内容は部署や担当、また時期等によって多様ですので、一概にどの程度ありますと示すことはできませんが、例えば、作業部門では作業計画に基づいた週4日・各2時間の計画残業が実施される場合があり、関連部門においてもそれに対応した勤務体制となる場合があります。

有給休暇は1年間に20日付与され、人事課では職員が1年間に16日以上取得できるような休暇の取得を推進しています。

Q10

採用状況はどのようになっていますか。

A

(単位:人)

区分	採用年毎	平成29年			平成30年			令和1年			令和2年		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
総合職	法律			0			0			0			0
	経済			0	1		1	1		1			0
	工学	1		1	1		1	1		1	1	1	2
一般職 (大卒)	行政	1	1	2		1	1		4	4	1	3	4
	電気・ 電子・ 情報			0	2		2	1		1	1		1
	機械			0			0	2		2	1		1
	建築			0			0			0			0
	化学		1	1	2	1	3			0			0
	事務			0			0			0	1		1
一般職 (高卒)	技術			0			0			0	1		1
	総合職	1	0	1	2	0	2	2	0	2	1	1	2
合計	一般職(大卒)	1	2	3	4	2	6	3	4	7	3	3	6
	一般職(高卒)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2

人事課長からのメッセージ



主な経歴

平成5年4月 採用（I種行政）
 平成5年9月 総務部業務課物品管理係
 平成8年7月 大蔵省主計局法規課
 平成11年7月 総務部総務課調査主事
 平成13年7月 財務省大臣官房文書課
 平成14年7月 財務省理財局国庫課
 平成15年7月 総務部経営企画課主事
 平成16年7月 研修員としてカリフォルニア大学に派遣
 平成18年4月 総務部総務課専門官
 平成21年4月 総務部総務課国際調整室長
 平成25年4月 総務部海外業務課長
 平成29年4月 現職

造幣局は、通貨制度を支える貨幣を安定的に製造することにより、国の社会的基盤を支える役割を担っています。一口に貨幣の製造と言っても、この採用案内で紹介するように関連する業務内容は多岐にわたり、単純ではありません。製造に関わる技術的な業務を専門にする部署もあれば、いわゆる行政的な業務を専門にする部署もあります。造幣局では、採用区分や試験区分等にかかわらず、多様な業務に対応するための人事が行わ

れており、専門性を生かすことも、様々な分野にチャレンジすることもできます。

就職活動中は、どのような業務を志望するか迷うこともあると思います。どんな業務であれ前向きに取り組める方であれば様々な業務を経験できる造幣局は魅力的な職場だと思いますので、ぜひ一度お越しいただき、雰囲気を感じてください。人事課一同皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

JAPAN MINT

ACCESS

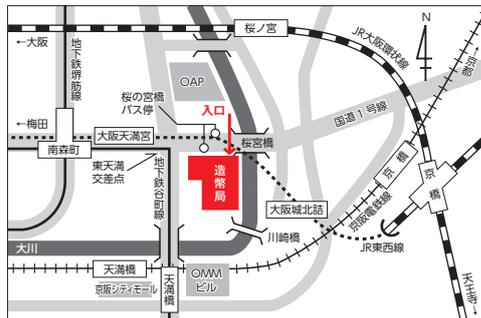


【本局】

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79

TEL 06-6351-5158(直通)

総務部人事課(人事担当)



【さいたま支局】

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町
1-190-22

TEL 048-645-5893(直通)

総務課(人事担当)



【広島支局】

〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央6-3-1

TEL 082-922-2093(直通)

総務課(人事担当)



造幣局ホームページ
<https://www.mint.go.jp>

採用情報
<https://www.mint.go.jp/about/recruit>



<https://www.facebook.com/mint.go.jp/>

